

記者発表：令和6年4月2日

【お問い合わせ】

観光振興課	073-441-2777	中村、津井田、太田
観光交流課	073-441-2785	前坂、大山
(公社)県観光連盟	073-441-2776	古根川

和歌山県観光振興実施行動計画

= 観光振興アクションプログラム2024 =

令和6（2024）年4月

和歌山県・（公社）和歌山県観光連盟

目次

I. 観光振興アクションプログラム2024の概要	
1. 基本方針	1
2. 令和6年度の重点取組	1
【参考】『聖地リゾート！和歌山』について	2
II. 観光振興アクションプログラム2024の主要事業	3
1. 観光資源の磨き上げ・魅力向上	
① テーマ別観光の推進	4
② 観光地域づくり	10
2. 効果的な情報発信・誘客促進	
① 国内誘客プロモーション	13
② 海外誘客プロモーション	15
3. 観光客の受入環境整備	
① 二次交通の利便性向上	16
② 観光施設・設備の充実	17

本実施行動計画は、和歌山県観光立県推進条例第11条第1項に定める観光振興実施行動計画として、同条例が定める基本理念並びに施策の基本方針、そして和歌山県長期総合計画が示す基本的な方向に沿って取り組む令和6年度の観光振興施策をまとめたものです。

【お問い合わせ】

観光振興課	073-441-2777
観光交流課	073-441-2785
(公社)県観光連盟	073-441-2776

I. 観光振興アクションプログラム2024の概要

1. 基本方針

本年度の「世界遺産登録20周年」、さらに来年度の「大阪・関西万博」を契機として、積極的なプロモーション活動を展開し、以下3点を基本方針として、国内外からの誘客を促進する。

●『聖地リゾート！和歌山』のブランド価値向上

和歌山県の強みである三つの「S」（「Spirituality（精神性）」・「Sustainability（持続可能性）」・「Serenity（静謐さや静けさ）」）を活かし、心と体を再生し、何度も訪れたい、かけがえのない場所を目指す。

●持続可能な観光地域づくり

地域の伝統・文化や環境と調和しつつ、地域が深い愛着をもって観光資源を磨き上げ、観光から得られる恩恵を地域全体で享受できる持続可能な観光地域を目指す。

●滞在期間延長と消費拡大

観光による経済効果を高めるため、観光客の滞在期間延長と消費拡大を目指す。

2. 令和6年度の重点取組

●世界遺産登録20周年を契機とした県内全域でのキャンペーン展開

世界遺産エリアに関わらず、県内主要社寺・市町村・観光関係団体による特別企画の開催や、本県の豊富な観光コンテンツを活かした観光キャンペーンを展開。

●体験コンテンツの充実と販売促進

インバウンドを含め、訪れた土地ならではの体験を楽しむ「コト消費」のニーズの高まりを捉えるため、地域（市町村・団体等）が一体となって、各地域の強みを活かした体験コンテンツの掘り起こしと磨き上げを行い、それらの体験商品を県公式観光サイトにてPR。

●大阪・関西万博を契機とした誘客促進

万博の開催効果を最大限取り込むため、体験コンテンツ等の充実に加え、万博にあわせて本県を訪れる広域周遊ルートの提案、プロモーション、旅行者向け情報発信を国内外に向けて行う。また、更なる観光客増加を図るため、万博会場での本県の魅力発信の準備を進める。

●強みを発揮できるテーマによる誘客促進

本県の有する魅力的な観光コンテンツである、「世界遺産」・「アウトドア」・「温泉と食」・「サイクリング」を中心に地域の観光資源を磨き上げるとともに、テーマに沿ったターゲット層にアプローチする。

【参考】『聖地リゾート！和歌山』について

ロゴマーク

知らないオドロキが色々色々


 聖地リゾート!!!!!!
Seichi Resort
WAKAYAMA
和歌山


 聖地リゾート!!!!!!
和歌山

【ロゴデザインについて】

訪れる人にとって他地域（都市部）にはない、明確な魅力（＝驚き）を表現するため「知らないオドロキが色々色々」をコンセプトにビックリマークを付したロゴとしました。

また、ビックリマークの数や色は、本県の様々な魅力を表現し、その時々メディアや表現によって「！」の数や色を自由に変えるとともに、ビックリマークの色も、日本の伝統色としています。



Ⅱ. 観光振興アクションプログラム2024の主要事業

1. 観光資源の磨き上げ・魅力向上

① テーマ別観光の推進

- 「世界遺産」を活かした観光
- 「アウトドア」による観光
- 「温泉と食」による観光
- 「サイクリング」による観光
- 「大阪・関西万博」を活かした観光

② 観光地域づくり

- 地域ストーリーの活用
- 体験メニューの磨き上げ
- ガイド人材（紀州語り部・地域通訳案内士・ジオパークガイド）の育成
- やる気観光地魅力アップ協働事業による支援

2. 効果的な情報発信・誘客促進

① 国内誘客プロモーション

- 戦略的なプロモーション
 - ・ メディア対策
 - ・ 自主広報媒体による情報発信 等
- 旅行会社向け提案活動
- ターゲット別誘致
 - ・ コンベンション ・ フィルム・コミッション
 - ・ スポーツ合宿 ・ 教育旅行
 - ・ 年金旅行

② 海外誘客プロモーション

- 観光プロモーター（レップ）の設置
 - ・ アジア6市場＋欧州、豪州に新設
- 市場説明会・個別相談会の開催（県内事業者向け）
- 現地セールスの実施（BtoB向け）
 - ・ 旅行博・商談会への出展
 - ・ ファムトリップの支援
- メディア等による情報発信（BtoC向け）
- モデル観光地・3県連携の取組み

3. 観光客の受入環境整備

① 二次交通の利便性向上

- リムジンバス・アクセスバスの運行
- バス停情報の充実
- 観光MaaSの取組み

② 観光施設・設備の充実

- 受入環境整備を行う市町村の支援
 - ・ 観光案内板の多言語化
 - ・ 観光地における公衆トイレ整備
 - ・ Wi-Fi環境整備 等
- 飲食店の多言語対応の促進
- 外国人観光客への防災対策

① テーマ別観光の推進

「世界遺産」を活かした観光

概要

- 世界遺産登録20周年を契機に、『聖地リゾート！和歌山』キャンペーンを展開。
- 世界遺産エリアを中心に主要社寺等による特別企画、世界遺産の意義について改めて学ぶ記念事業などを実施。併せて、県内全域で本県の強みを活かした観光素材の充実を図り、様々な媒体を通じて情報を発信。

事業内容

■世界遺産登録20周年記念『聖地リゾート！和歌山』キャンペーン

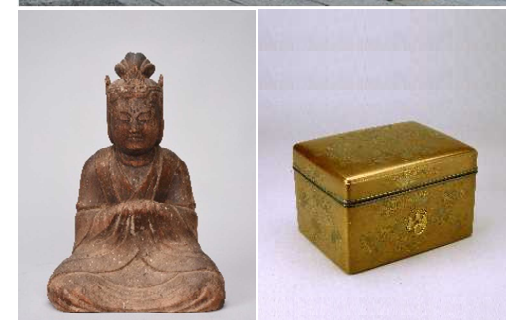
交通事業者等と協働し、期間限定の特別企画をはじめ、世界遺産、アウトドア、温泉と食、サイクリングなどの豊富な観光コンテンツを発信するとともに、事前の旅行会社へのプロモーション活動をあわせ、全国から誘客を図る。

- 夏キャンペーン（7月～9月末）※JR西日本グループとタイアップしたPRキャンペーン
- 秋キャンペーン（9月～12月中旬）

JRと連携したキックオフイベント（大阪市）、熊野白浜リゾート空港お披露目セレモニー（白浜町）を予定（7月上旬）

【主なキャンペーン企画】

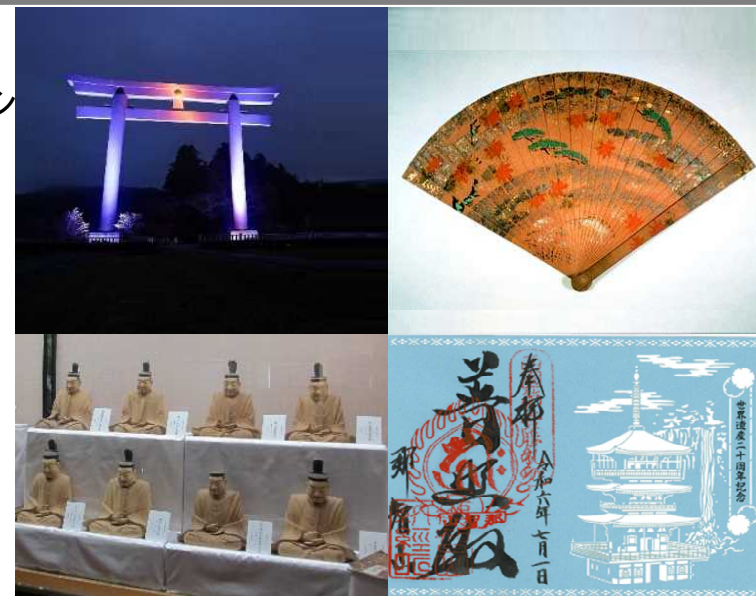
- 令和の熊野詣
 - ・かつての熊野御幸を再現した熊野古道中辺路のリレーウォーク、熊野三山での到達セレモニー及び王子等での特別企画（お茶会、水垢離等）を実施し、その様子を広く発信
 - ・出立の地・京都「城南宮」から熊野三山まで、熊野御幸ゆかりの名所・社寺をめぐるしかけづくり
- 県立博物館特別展「聖地巡礼－熊野と高野－」（6月～3月）
 - ・本県が誇る熊野と高野の名宝を展示する特別展（全5期）の開催
- 世界遺産登録社寺等における特別企画
 - ・県内の歴史ある社寺が、特別展、ライトアップ、特別御朱印などの特別企画を期間限定で開催
- 世界遺産登録20周年事業の支援
 - ・世界遺産地域協議会（高野・熊野・大辺路）が実施する世界遺産の価値を次世代に継承するフォーラム等の記念事業の開催を支援



① テーマ別観光の推進

「世界遺産」を活かした観光

- 世界遺産三県連携事業（和歌山県・三重県・奈良県）
 - ・メディアやSNS等による発信及び紀伊半島周遊促進に向けた共同プロモーション
 - ・「紀伊山地の霊場と参詣道」の文化的価値を発信するため、三県の有識者等によるシンポジウムを京都府で開催
- 和歌山全域でのキャンペーン企画の展開
 - ・熊野古道・高野参詣道ウォークをはじめ、豊富な体験メニューの提供、各地域での記念イベントの実施等
- 鉄道等の交通手段と連動した県内周遊企画の実施
（主要駅を起点としたスタンプラリー、レール&ウォーク、レール&サイクル等の周遊コースの企画等）
- 交通事業者と連携した主要駅等での記念イベントや観光PRの展開等



【情報発信】

- 駅等でのキャンペーンポスター・パンフレットの設置、駅構内等でのデジタルサイネージ、PR動画の配信
- キャンペーンガイドブックの発行、特設サイト、SNS、アプリ等でのPR等

【旅行商品の造成拡大】

- キャンペーン特別旅行商品の造成に向けた提案、働きかけの継続実施
- 旅行会社に対し、貸切バスで周遊するツアーの経費を支援
- 要件を満たした旅行商品を造成した旅行会社に対し、キャンペーン仕様エコバック等を提供

■ 世界遺産の活用・保全にかかる取組

- ロングトレイル、レール&ウォークの推進
 - ・宿泊を伴う「ロングトレイル」や鉄道を利用しながら歩く「レール&ウォーク」の楽しみ方をWEBやSNS等を活用し情報発信
- 和歌山県街道マップ、押印帳、登山アプリ「YAMAP」を活用した古道歩きの推進
- 参詣道の案内板、誘導板等の整備
- 10万人の参詣道保全活動（道普請）の実施、世界遺産マスター制度の運営等



① テーマ別観光の推進

「アウトドア」による観光

概要

- コロナ禍を経て、より自然に触れ合うアウトドアブームが定着しつつある中、県内の豊富なアクティビティ体験やキャンプ場、グランピング施設等の魅力を紹介するアウトドア観光ポータルサイトにより、和歌山ならではの“ほんまもん”アウトドスタイルの魅力発信や周遊企画等を展開。

事業内容

■ 情報発信

- 「わかやま”ほんまもん”遊び」
 - ・ オンライン予約ポータルサイトを活用し、海・山・川など多彩なアクティビティ体験メニューの魅力を発信
- 「わかやま”ほんまもん”キャンプ」
 - ・ オンライン予約ポータルサイトを活用し、通年楽しめる多彩なキャンプ場、グランピング施設の魅力を発信
- 大手アウトドアサイト事業者とタイアップしたプロモーションの展開
- アウトドアフェス2025（大阪開催）への出展
 - ・ 県内のアウトドアスポット、アウトドア体験等の魅力をPR
- 和歌山独自のアウトドスタイルの発信
 - ・ 県内の豊富な温泉や県産食材を使ったキャンプ飯など民間事業者とも連携し和歌山ならではのスタイルを創出しながら、本県のアウトドアの魅力を発信
- 大地と人の暮らしの関わりを実感できる「南紀熊野ジオパーク」の魅力を紹介



■ 周遊促進と滞在期間延長

- SNSを活用したアウトドア観光周遊企画の展開
 - ・ ライン、インスタグラムなどのSNSを活用した観光や体験等を組み合わせた周遊企画の展開
- モバイルスタンプラリーによる周遊促進
 - ・ 雄大な自然・絶景のジオサイトをはじめ、思わず写真を撮りたくなるスポットを紹介し、周遊できるスタンプラリーを展開
(聖地リゾート！和歌山モバイルスタンプラリー内で実施)

■ アウトドア観光素材の魅力向上

- セミナー等の開催
 - ・ 県内アウトドア関係事業者向けにセミナー等の開催、事業者間の連携強化を図る
- 効果分析、情報提供
 - ・ 新たなコンテンツ造成に繋げるため、サイト運用実績等の効果分析及び県内アウトドア事業者等への情報提供

① テーマ別観光の推進

「温泉と食」による観光

概要

- 「温泉」と「食」は、常に旅行目的のトップに位置づけられる中、本県は西日本有数の温泉地であり、食についても海の幸、山の幸に恵まれている。「温泉」や「食」に加え、体験など観光素材を組み合わせたプロモーションを実施。
- 各地の温泉地が連携する協議会や観光関係団体と連携して、各温泉地の特色や魅力を発信し、県内全域で多種多様な温泉が楽しめる県というイメージ定着を図る。

事業内容

■ 温泉・食・体験などを組み合わせた企画の提供

- 県内の多彩な温泉と地域ならではの食、歴史・文化、自然等が体験できるプランを特設WEBサイト「湯の旅 わかやま」等で展開



■ 温泉ブランド力の強化に向けた情報発信

- 泉質やロケーション等、選べる楽しみ方をデジタルパンフレット等で紹介
- メディア等を活用した情報発信
- 旅行会社等へのプロモーション
 - ・温泉やグルメを盛り込んだツアー商品造成の働きかけ

■ 周遊促進

- 「お得にわかやまグルメTRIP」の実施
 - ・クーポン利用でお得に飲食・お土産店や温泉など（約300施設）が利用できるスタンプラリーを展開（聖地リゾート！和歌山モバイルスタンプラリー内で実施）



① テーマ別観光の推進

「サイクリング」による観光

概要

- 県内全域に800kmを超えるサイクリングの推奨ルートと絶景や温泉、食などを組み合わせ、無限大のサイクリング旅を楽しんでいただくために「WAKAYAMA 800」として発信し、「和歌山がサイクリング旅の最適地」というイメージ定着を図る。
- ナショナルサイクルルートの指定を受けた太平洋岸自転車道やサイクルトレインなどを活用し、誰もが気軽にサイクリングを楽しめる新たなコースを提案するなど、県内周遊を促進。

事業内容

■ 周遊促進

- 「大阪・関西万博」を見据えた大阪府との連携
 - ・ 大阪府と和歌山県をつなぐサイクリングコースの設定や周遊企画の実施
- モバイルスタンプラリーの実施
 - ・ 県内のおすすめ周遊コースを設定・紹介し、周遊できるスタンプラリーを展開
 - ・ 大阪エリアの拡大及び京都・奈良エリア周遊企画の検討・実施
 - ・ 太平洋岸自転車道（県外）との連携



■ 情報発信・誘客プロモーション

- 自転車専門誌・WEBでの発信
- 交通事業者等と連携したPR
 - ・ 本県最大のマーケット「京阪神エリア」沿線の交通事業者等と連携した情報発信と誘客促進
- JRきのくに線サイクルトレインを組み合わせたモデルルートの提案・発信
- 鉄道駅を起点としたレンタサイクルを活用した「レール&サイクル」コースの提案・発信
- JR西日本や旅行会社と連携した、レンタサイクルを活用した周遊企画商品の造成・拡大



■ 安心・安全なサイクリング環境の整備

- サイクルステーションやサイクリストに優しい宿の拡充
- 太平洋岸自転車道の路面表示等の充実



① テーマ別観光の推進

「大阪・関西万博」を活かした観光

概要

- インバウンドを含め多数の人が来訪する「大阪・関西万博」を本県の観光活性化の最大の好機と捉え、万博に合わせて訪れる旅行先として本県への周遊を促す取組を実施するとともに、万博終了後も次の旅行先として選ばれるよう、開催期間中に会場において本県の売り込みを行う。

事業内容

■ 国内外からの誘客に向けた商品造成とプロモーションの実施

- 魅力的な観光コンテンツ等の充実
 - ・市町村や観光協会等が実施する観光地の魅力アップ・利便性向上につながる活動の支援
 - ・ほんまもん体験の掘り起こしと磨き上げ
- 万博と組み合わせた周遊の提案
 - ・海外や首都圏を中心とした旅行会社への商品造成の働きかけ、商談会への出展
 - ・教育旅行等の誘致活動
 - ・メディアへの情報発信、公共交通機関とのタイアップ、各種キャンペーン・プロモーションの実施
- 博覧会協会と連携した誘客プロモーションの実施
 - ・博覧会協会と連携し、広域周遊ルートのPRや「万博＋観光ポータルサイト」への県内企業・団体の旅行商品の登録を推進
- クルーズ船の誘致
- 熊野白浜リゾート空港への国際線チャーター便の誘致



■ 万博会場での情報発信のための準備

- 「和歌山DAY（仮称）・和歌山WEEK（仮称）」
 - ・会場来訪者に向けて、本県の歴史や文化など多彩な魅力をステージパフォーマンスにより発信することで和歌山を売り込む

② 観光地域づくり

地域ストーリーの活用

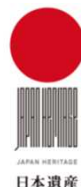
概要

- 和歌山にしかない特別な「物語」・「歴史・文化」を分かりやすくストーリー立てて発信。

事業内容

■ 日本遺産を活用した魅力発信

本県に関係する7つの日本遺産を活用し誘客を促進



- 「絶景の宝庫 和歌の浦」(和歌山市、海南市)
 - ・和歌の聖地・和歌の浦誕生1300年を記念し、万葉に関連したまち歩きイベント等の実施
- 「『葛城修験』－里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」(和歌山市、橋本市、紀の川市、岩出市、かつらぎ町)
 - ・日本遺産認定5周年を記念したウォークイベント等の実施
- 「鯨とともに生きる」(新宮市、那智勝浦町、太地町、串本町)
 - ・認定ストーリーの理解を深める体験イベント、SNS等を活用した情報発信
- 「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅 (湯浅町)
- 「百世の安堵」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～ (広川町)
- 1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～ (和歌山市、紀の川市、那智勝浦町)
- 女性とともに今に息づく女人高野～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～ (九度山町、高野町)



■ 「わかやま歴史物語 100」による発信

- 本県の知られざる歴史・文化の魅力を特設WEBサイトで「100の旅モデル」として、ストーリー立てて紹介するとともに、具体的に楽しめるモデルコースを発信
- 「わかやま歴史物語」講座(仮称)の開催
 - ・和歌山の旬な歴史資産をテーマに特別講師によるセミナーを開催し、併せて関連する旅行商品を提案



② 観光地域づくり

体験メニューの磨き上げ・ガイド人材の育成

概要

- 「モノ消費」から多様な体験を楽しむ「コト消費」への変化に対応するため、自然、農林漁業や歴史・文化、暮らしなどの地域資源を活かした体験型観光「ほんまもん体験」の充実を図る。
- 紀州語り部等のガイド人材のレベルアップを目的とした研修会の開催や支援等を実施。
- 外国人観光客と円滑なコミュニケーションを図りつつ、当地域に関する深い知識を持ち、きめ細かい対応ができる質の高い通訳案内士を育成。

事業内容

■ ほんまもん体験の充実

- 体験メニューの掘り起こしと磨き上げ
- 体験メニューの予約サイトの運用
 - ・ 体験事業提供者の新規登録
 - ・ 予約販売データ等を活用した情報を体験事業者にフィードバック
- 事業者向けセミナーの開催
 - ・ 観光DX、マーケティングやインターネットツールを活用した販売促進のセミナー開催

■ 紀州語り部

- ガイドレベルアップ支援
 - ・ 語り部各団体等が行うレベルアップ研修の経費支援
- 登録者等を育成する研修会の開催
 - ・ 語り部の幅広い知識や技術の習得、相互連携を図る
- 公式ラインアカウントを活用した情報発信
 - ・ ウォークイベント等の情報を一元的に情報発信

■ 高野・熊野地域通訳案内士

- 来県外客数の多い英語、中国語、フランス語、スペイン語の4言語で高野・熊野で活動する通訳ガイドを育成、認定
- 世界遺産エリア等でガイドスキルアップのための実地研修を実施
- ガイドとガイド団体とのマッチングを行う就業機会促進講座を開催

■ 南紀熊野ジオパークガイド

- 「ジオパーク的な視点」を持ち南紀熊野地域で活動するジオパークガイドを育成するための研修等を実施
 - ・ ガイドエリア拡大研修や現ガイドのスキルアップ研修を実施
- ジオツアー・体験メニューの充実
 - ・ ジオパークガイドが実施するジオツアーの造成やメニューの磨き上げを提案、支援

② 観光地域づくり

やる気観光地魅力アップ協働事業による支援

概要

- 県と協働しながら、「観光地の魅力アップ」や「観光客の利便性向上」につながるようなソフト事業を実施する市町村、観光協会、DMO等の団体への支援を実施。

事業内容

<やる気観光地魅力アップ協働事業補助金>

■ 補助対象事業 ※総事業費80万円以上の事業が対象

○ 観光地魅力アップ協働事業

- ◆ 「大阪・関西万博」も見据え、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年を契機とした観光客の受入体制づくり
(例) 世界遺産登録20周年を盛り上げるための記念企画
地域の観光素材を活かしたコンテンツづくり 等
- ◆ 「世界遺産」「アウトドア」「温泉・食」「サイクリング」の4大テーマに沿った観光客の受入体制づくり

○ インバウンド体験型観光受入促進事業

- ◆ コンテンツの造成・みがき上げ
(例) インバウンドの視点、知見を有する専門家の招聘
課題抽出のためのモニターツアー実施
インバウンド受入れ時の指差し対応マニュアル作成
受入体制構築のためのガイド等の人材育成 等
- ◆ 情報発信、販路確立
(例) PR動画、記事の制作、OTA等へ掲載を促すセミナー開催等

■ 補助対象事業者

市町村、観光協会、DMO等の団体
※ 営利を目的とした民間事業者のみで構成される団体・協議会は対象外

■ 補助割合

補助対象事業の1/2以内



① 国内誘客プロモーション

戦略的なプロモーション

概要

- 「世界遺産」「女子旅」などのブランド力やマーケットの注目度の高いテーマをメディア等の活用により効果的に発信。
- 首都圏ニーズの高い話題性のあるテーマを活かしたイベントの開催及び和歌山の観光をテーマとする講座の開催。
- 県観光情報誌や公式観光サイト、観光総合アプリなど自主広報媒体による情報発信。

事業内容

■ メディア対策

- テレビ、雑誌、WEB等のメディア及びSNSを活用した周知活動を実施
- 専門誌などターゲットを絞ったメディアとのタイアップ
 - ・ まだまだ知られていない和歌山の魅力を専門誌などのメディアとのタイアップにより効果的に紹介

■ 首都圏でのPRイベントの開催

- 『聖地リゾート！和歌山』首都圏イベント
 - ・ メディア関係者を対象に話題性のあるテーマを活かしたPRイベントの開催
- 和歌山の観光をテーマとする講座の開催
 - ・ 首都圏で、メディア、民間企業等と連携し、「和歌山の魅力」を伝え、旅行動機を喚起させる講座を開催

■ 自主広報媒体による情報発信

- 紀州浪漫
 - ・ 紀州浪漫の発行と配布、WEB版の公開とSNS広告での拡散
 - ・ キャンペーンガイドブックの発行（紀州浪漫 秋号）
- 県公式観光サイト
 - ・ WEBサイト内コンテンツの充実
 - ・ インスタグラムなどのSNS公式アカウントを活用した魅力発信
- 和歌山県観光総合アプリ「和みわかやま旅」
 - ・ イベント情報や観光施設の検索機能等を提供
 - ・ 旬の観光情報をプッシュ通知でお知らせ
 - ・ 謎解きラリー（楽しみながら県内周遊）等



① 国内誘客プロモーション

旅行会社向け提案活動・ターゲット別誘致

概要

- 旅行商品造成のための下見支援・貸切バスで周遊するツアーへの経費支援及びファミツアーの実施。
- コンベンション、フィルムコミッション活動によるロケ地及び信用金庫の年金旅行等の誘致活動の強化。

事業内容

■ 旅行商品の造成拡大に向けた取り組み

- ファミツアーの実施
 - ・ 首都圏発の旅行商品造成を目的に現地研修会等を実施
- 旅行商品造成のための下見支援
 - ・ 経費支援及び現地下見の調整、当日のアテンドの実施
- 団体旅行誘致支援事業補助金
 - ・ 対象時期：9月～12月（催行日基準）
 - ・ 対象ツアー：体験メニュー等を組み込んだ貸切バスを利用した団体旅行の催行支援（県外発着）
- 団体旅行商品への協賛
 - ・ 要件を満たした旅行商品を造成した旅行会社に対し、キャンペーン仕様エコバック等を提供

■ 大型観光展などへの出展、商談会の開催

- ツーリズムEXPOジャパン2024（東京開催）への出展
 - ・ 前半2日間のビジネスデーにおいて旅行会社等と商談を実施
- 「わかやま観光説明会」の開催（名古屋開催）
 - ・ 県内市町村等と東海圏の旅行会社との個別商談会

■ 旅行会社、メディア訪問

- 旬の素材や特別企画の旅行商品造成活動・情報掲載依頼
 - ・ 夏プロモーション（6～7月）・春プロモーション（2～3月）

■ コンベンション誘致

- コンベンション開催支援
 - ・ コンベンション開催費用、エクスカージョン実施費用、事前視察費用の助成

■ フィルム・コミッション

- ロケハン（撮影の下見）対応や撮影本番における手続きなどの支援や調整

■ スポーツ合宿の誘致

- 県公式観光サイトへ県内スポーツ施設の紹介ページの掲載及び更新

■ 教育旅行の誘致

- 旅行会社や学校を事業者とともに直接訪問するスクールキャラバンの実施や事前視察費用の助成のほか、インバウンド教育旅行の誘致も実施

■ 年金旅行の誘致

- 県内信用金庫・信金中央金庫と連携し、全国の信用金庫に対し提案活動を実施

② 海外誘客プロモーション

海外誘客プロモーション活動

概要

- アジアの主要6市場の他、新たに欧州及び豪州に観光プロモーターを設置し、現地でのプロモーションを強化。
- 県内事業者と現地旅行会社のリレーション構築のため、商談会を開催。
- 情報発信や現地でのプロモーションを実施し、海外からの誘客を図る。

事業内容

■ 観光プロモーター（レップ）の設置

- ・中国、香港、台湾、韓国、タイ、シンガポールに加え、イギリス、フランス、オーストラリアに設置
- ・現地旅行会社・メディアへのセールス活動及び情報収集
- ・SNS等を活用した現地語での観光情報発信

■ 市場説明会・個別説明会の開催（県内事業者向け）

- ・2月頃、県内事業者向けに各国・地域の観光プロモーターによる市場説明会を開催

■ 現地セールスの実施（BtoB向け）

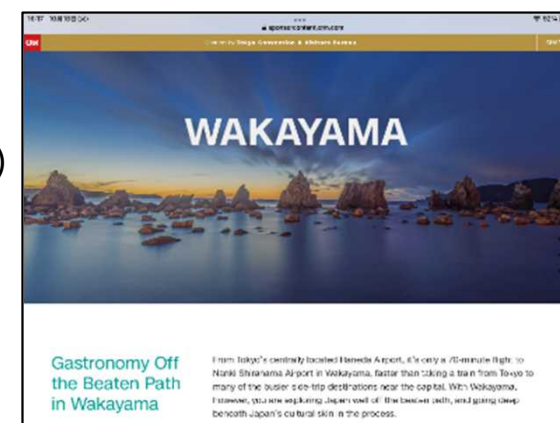
- ・海外現地開催の国際旅行博覧会や商談会に出展、観光情報を発信
- ・9月に台湾で県主催の商談会を開催予定
- ・海外の旅行会社やメディアを訪問、観光情報を発信
（タイ（10月）、香港・韓国（1月）におけるセールスコール時に参加事業者を募集予定）

■ メディア等による情報発信（BtoC向け）

- ・世界的メディアによる情報発信
- ・和歌山県の観光の魅力を発信する特設WEBサイトを開設し、特集記事を掲載

■ モデル観光地による3県連携の取組み（奈良南部・和歌山那智勝浦エリア）

- ・観光庁による高付加価値旅行者の誘客に向けて集中的な支援等を行うモデル観光地11地域に選定
- ・奈良県、三重県とともに「紀伊半島」を中心としたプロモーション活動を実施



① 二次交通の利便性向上

二次交通の利便性向上の取組み

概要

- 「京都駅・高野山線」高速バスに対して、情報発信などの支援を行い、当バスの利用促進と高野山への誘客促進を図るとともに、高野山と熊野本宮大社を結ぶ「聖地巡礼バス」を運行し、紀南エリアへの誘客を図る。
- 外国人観光客の受入環境整備の一環として、バス停情報の多言語化や案内情報の充実を図る。
- 交通・観光施設のチケット等をデジタル化し、スマートフォン一つで予約・決済・利用を可能にするW E Bシステムを運用。

事業内容

■ リムジンバス・アクセスバスの運行

- 「京都駅・高野山線」高速バス
 - ・京都駅～高野山間を運行
 - ・令和6年4月12日～11月24日の間、毎日1往復2便運行
- 世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス
 - ・高野山～熊野本宮大社間を運行
 - ・令和6年4月1日～11月30日の間、毎週火・水を除く毎日運行

■ バス停情報の充実

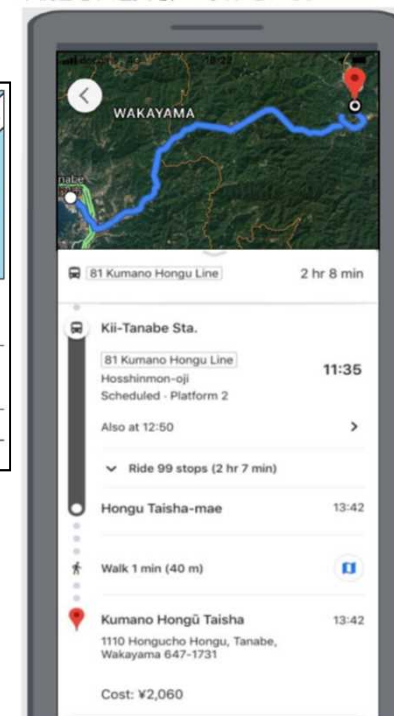
- ・バス停情報の多言語表記による整備
- ・県内バス情報のオープンデータ化・Google マップへの登録

■ 観光MaaSの取組み＜KiiPassの提供＞

- ・対象地域：高野山地域、熊野地域
- ・実施時期：令和6年度初夏～秋を想定
- ・事業内容：交通、観光施設等のチケット販売サイトを運用



多言語表記バス停周辺案内図



県内のほとんどの路線バス情報が Google マップで検索可能

※ Google マップは、Google LLCの商標です

② 観光施設・設備の充実

観光施設・設備の充実に向けた取組み

概要

- 外国からの個人観光客（F I T）が本県を快適・円滑・安全に周遊できるような環境を整備。

事業内容

■ 受入環境整備を行う市町村の支援

- テーマ（参詣道・古道歩き、アウトドア観光、まちなか周遊機能強化）に沿って市町村等が実施する一体的・面的な観光資源の整備を支援
 - ・観光案内板の多言語化
 - ・観光地における公衆トイレ整備
 - ・Wi-Fi環境整備 等



■ 飲食店の多言語対応の促進

- EAT WAKAYAMAの運用
 - ・飲食店等のメニュー多言語化支援及び多言語での飲食店等検索WEBサイトの運用



■ 外国人観光客への防災対策

- 宿泊施設等従業員向けの初動対応マニュアルに基づく訓練等の実施
 - ・令和5年度に作成した、地震等の災害に馴染みのない外国人観光客に対する宿泊施設等の従業員向けマニュアルと外国人向けの周知リーフレットに基づき、宿泊施設等において、実地の訓練を実施することで、災害対応力の強化を図る

